【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成22年12月24日(2010.12.24)

【公表番号】特表2010-508367(P2010-508367A)
【公表日】平成22年3月18日(2010.3.18)
【年通号数】公開・登録公報2010-011
【出願番号】特願2009-535608(P2009-535608)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　36/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　36/18　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　36/23　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　36/71　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/18　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/12　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　35/78　　Ｙ
Ａ６１Ｋ　35/78　　Ａ
Ａ６１Ｋ　35/78　　Ｃ
Ａ６１Ｋ　35/78　　Ｎ
Ａ６１Ｋ　35/78　　Ｆ
Ａ６１Ｐ　31/18
Ａ６１Ｐ　31/12

【手続補正書】
【提出日】平成22年11月1日(2010.11.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項８】
前記ラン藻から抽出した乾燥物１グラムあたり８０マイクログラムのリチウムが含まれていることを特徴とする請求項７に記載の薬剤の製造方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
［その他の実施例］
別の実施例では、溶液中に、オトギリソウ（Ｊｏｈａｎｎｉｓｋｒａｕｔ）及び／又はパセリ汁からの抽出物が含まれている。ラン藻及び／又はキンポウゲからの抽出物も効果があるように思われる。ラン藻から抽出した乾燥物１グラムあたり、約８０マイクログラムのリチウムが含まれている。